

33年ぶりの優勝祝う

えひめ国体ボート県代表

戸田市長に凱旋報告

愛媛県で開催された「えひめ国体」のボート競技で活躍した戸田市ゆかりの3チームが、同市役所で神保国男市長に凱旋報告を行った。同市長は「おめでとう」と祝福。成年男子かじ付きフォアで優勝したクルーは、1984年の奈良国体で県警が栄冠を獲得して以来、県勢では33年ぶりの国体制覇の快挙だった。

かじ付きフォアのクルーは、田立建太選手(33)Ⅱ戸田中央総合病院Ⅱが最年長の主将として、若手のメンバーたちをリード。田立選手は「ボートを続けて19年目で初めて、やっと優勝できました」とうれしそうに語った。

報告には、成年男子ダブルスカル準優勝のメンバー、少年女子4人スカルで3位に入った県立南稜高校ボート部も参加した。

ダブルスカルのクルーの小林雅人選手(26)Ⅱ戸田中央総合病院Ⅱは2年連続の準優勝に、「来年の福井国体は優勝を目指します」と決意を新たに。南稜高チームの主将で3

愛媛国体の活躍を神保国男市長(前列右から3人目)に報告したボートの選手らⅡ戸田市役所



年生の竹川海咲(みさき)選手は、「序盤から愛媛とトップを争ったが、残り100メートルのラストスパートで福井に差されて悔しい」と振り返った。